

DM2-05B 式の利用 標準 解答

【1】式の値

(1) 33

(2) -20

(3) 19

(4) 24

(5) -55

(6) -7

(7) 1

(8) $-\frac{1}{3}$

【2】数量を文字式で表す

(9) $3x + 2y$

(10) $a - 4b$

(11) vt

(12) $ax + y$

(13) $0.8x$

(14) $1.1a$

(15) $\frac{x}{a}$

(16) $m - nt$

【3】整数を文字で表す

(17) $3n$

(18) $5n$

(19) $3n + 1$

(20) $4n + 3$

(21) $2n, 2n + 2, 2n + 4$

(22) $2n + 1, 2n + 3, 2n + 5$

(23) $3n, 3n + 3$

(24) $5n, 5n + 5$

【4】式を使った説明

(25) 偶数を $2m$, $2n$ とすると, 和は $2m + 2n = 2(m + n)$ 。 $m + n$ は整数なので, 偶数である。

(26) 奇数を $2m + 1$, $2n + 1$ とすると, 和は $2m + 1 + 2n + 1 = 2(m + n + 1)$ 。 $m + n + 1$ は整数なので, 偶数である。

(27) 偶数を $2m$, 奇数を $2n + 1$ とすると, 和は $2m + 2n + 1 = 2(m + n) + 1$ 。 よって奇数である。

(28) 連続する 2 つの整数を n , $n + 1$ とすると, 和は $2n + 1$ 。 よって奇数である。

(29) 連続する 3 つの整数を n , $n + 1$, $n + 2$ とすると, 和は $3n + 3 = 3(n + 1)$ 。 よって 3 の倍数である。

(30) 連続する 2 つの奇数を $2n + 1$, $2n + 3$ とすると, 和は $4n + 4 = 4(n + 1)$ 。 よって 4 の倍数である。

(31) 3 の倍数を $3m$, $3n$ とすると, 和は $3m + 3n = 3(m + n)$ 。 よって 3 の倍数である。

(32) 5 の倍数を $5m$, $5n$ とすると, 差は $5m - 5n = 5(m - n)$ 。 よって 5 の倍数である。